

(別紙5)

補助事業番号 28-1-041
補助事業名 平成28年度 国際交流の推進活動 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 中近東文化センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

日本人による古代オリエント史の「年表(文化編年)」の再構築を目指し、自らの「年表」により歴史を語ることを一つの目的とする。併行して出土遺物、遺構の保存、修復、つまり「文化財保存」に重点を置く。そして日本、トルコ、欧米の次世代を担う若手研究者を養成し、各国の若者が世界に目を向ける切っ掛けとなることをもって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

[アナトリア考古学研究所\(トルコ共和国\)を拠点とした国際交流活動](http://www.jiaa-kaman.org/jp/announce.html)

[http://www.jiaa-kaman.org/jp/announce.html - 160928](http://www.jiaa-kaman.org/jp/announce.html)

[http://www.jiaa-kaman.org/jp/announce.html - 160824](http://www.jiaa-kaman.org/jp/announce.html)

平成28年度は、遺跡、遺物の保存修復活動、および考古学フィールドコース、博物館学フィールドコース、「考古学の授業」等を開催しました。

特に、当該事業の核となるのはフィールドコースです。考古学フィールドコースでは、日本から参加した学生にカマン・カレホユック遺跡より出土した様々な遺物(土製品、青銅製品、ガラス、骨など)と保存状態の良い建築遺構を教材として授業を行ない、博物館学フィールドコースではトルコ国内の保存修復センター所属の保存修復専門家、ガズィ大学保存修復学科の学生たちを対象に紙製品の保存修復についての講義、実習を行ないました。

当該事業は、常に「発掘調査」と「文化財保存」を併行した形で進めているのが特徴で、平成28年度も多くの学生、若手研究者の養成において大きな役割を果たすことができたと考えています。



カマン・カレホユック遺跡



発掘現場での作業

(別紙5)



毎週現場で行なわれる授業



現場での実習



毎日のミーティングでの発表



本の修復の実習

2 予想される事業実施効果

当該事業に参加した日本人の学生たちにとって、地元の発掘作業員や学生たちとの交流、欧米から参加する研究者や研究者を目指す学生たちとのミーティングは、国内だけでは得られない貴重な体験となったことでしょう。また、海外からの参加者にとっても、慎重に掘り下げる日本の緻密な発掘システム、その発掘した層位を考察し、層序をまとめて編年を構築（年表を作成）する一つ一つを積み上げていく地道な作業には学ぶべきところがあったことと考えます。トルコ国内の大学から発掘調査に参加する学生も多く、現場で刺激を受けることにより考古学の道を目指す学生や博物館学芸員を目指す学生も少なくありません。彼らにとってその後の進路を考える大きな転機となったのではないのでしょうか。

当該事業に参加した若手研究者、学生たちは、その後それぞれの所属先である大学や研究機関、その発掘現場に戻りますが、当該事業で得たものを生かし、国内の発掘現場や大学、研究機関、教育機関において、現場をリードしていく存在に成長していくことが期待されます。実際にトルコ国内では、近年、博物館に戻った学芸員が展示の工夫や収蔵品の保存修復に実績を上げており、トルコ政府、トルコ考古学界での期待も高まっています。

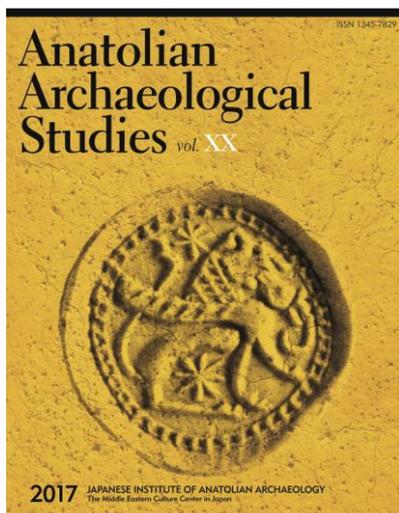
(別紙5)

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

[Anatolian Archaeological Studies Vol. XX](http://www.jiaa-kaman.org/jp/announce.html#170401)

<http://www.jiaa-kaman.org/jp/announce.html#170401>



CONTENTS

13	Mark WEEDEN	YH150318: a Pot-shoulder Inscribed with Hieroglyphs
17	Mark WEEDEN	A Cuneiform Fragment from the 2016 Season at Büklükale, BKT 3: Part of a Diplomatic Text?
23	Andrew S. FAIRBAIRN, Nathan J. WRIGHT, M. Cemre USTUNKAYA, Rhona S. H. FENWICK	Preliminary Archaeobotanical Results from Early Bronze Age III Occupation at Kaman-Kalehöyük
37	Rhona S. H. FENWICK	The Inscription on a Ming Dynasty Porcelain Sherd from Ottoman Kaman-Kalehöyük
43	Kazuhiro KUMAGAI	Geophysical Survey at Büklükale: Overview of the Mound, City Walls and Lower City
51	Mariya MASUBUCHI	The Chemical Characterization of Iron and Steel Objects from Kaman-Kalehöyük
63	Ingrid GUDMESTAD	Conservation Report 2015: Survey, X-Ray Examination and Conservation of Finds from the Yasshöyük and Büklükale Storages
77	Lourdes Mesa GARCIA	2015 Yasshöyük Conservation Report
83	Ainslie HARRISON	Conservation Season Report 2014 Kaman-Kalehöyük, Yasshöyük, and Büklükale Excavations
91	William SHELLEY	Conservation Research Report 2014
95	Kate WIGHT	Conservation Season Report 2013 Kaman-Kalehöyük, Yasshöyük, and Büklükale Excavations
101	Lucy SKINNER	Conservation Report 2011 for the Japanese Institute for Anatolian Archaeology



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名: 公益財団法人 中近東文化センター

(コウエキザイダンホウジン チュウキントウブンカセンター)

住所: 〒181-0015

東京都三鷹市大沢3-10-31

代表者: 理事長 阿部 知之 (アベ トモユキ)

担当部署: アナトリア考古学研究所 (アナトリアコウコガクケンキュウジョ)

担当者名: 事務担当 吉田 知子 (ヨシダ トモコ)

電話番号: 0422-32-7665

FAX: 0422-31-9453

E-mail: tokyo@jiaa-kaman.org

URL: <http://www.jiaa-kaman.org/>